

～輝きの子育て～

神様に喜ばれる法則

大変暑い日が続きます。皆様にはお体をご自愛下さい。2024年パリオリンピックが始まっています。日本選手の活躍を祈念いたします。

今月は、小林正観という人の書いた「宇宙を味方につける方程式」「宇宙を貫く幸せの法則」という本から一部を抜粋して、神様に喜ばれて、自分が幸せになる方法を紹介します。この著者は変わった人ですが、長い日本の民族の歴史の中で、永々と受け継がれて来たことを言っており納得出来ることでもあります。

神様は存在するか。確かに神様と言わなくともサムシング・グレート (Something Great) が存在することは多くの科学者も認めています。宇宙の何か?なのか、天の神様なのかは別として何か＝神様と受け止めて本の内容を紹介します。

動物には二つの本能が組み込まれています。①自己保存の本能 ②種の保存の本能 人間には、この二つのほかに、神様から三つめの本能を頂いています。それは、③「喜ばれるとうれしい」と言う本能です。神様は自己保存の本能、種の保存の本能はありません。ただ「喜ばれるとうれしい」という本能を持っています。神様の場合はこの本能はエネルギーというのだそうです。「喜ばれるとうれしい」という塊（かたまり）が神様です。

神様は、その本能を生物界の頂点に位置する人間に付け加えたのです。

宇宙には「ありがとう」「ありがとう」と言っているだけで、それがエネルギーになるという法則があります。「ついている」「ついている」という言葉もエネルギーになります。「うれしい、楽しい、幸せ、愛してる、大好き、ありがとう、ついている・・・」というように、自分の口から出てくる言葉が、喜びと感謝の言葉に満ちていると、それ自体が、自分の体にとってのエネルギーになると同時にその言葉を聞いた人、そして目に見えない方々も、元気づけ、勇気づけることになります。

このように、すべての出来事を全部肯定的に捉えていると、神様から微笑まれるという事実があります。神様に好かれるには、否定的な言葉を口にしないこと、なんでも肯定的に捉えて、それを言葉にすることが必要です。「つらい、悲しい、つまらない、嫌だ、嫌いだ、疲れた、不平不満、愚痴、泣き言、悪口、文句、恨み言葉、憎しみの言葉、呪いの言葉・・・」を金輪際、口にしないことです。

昔、「光の言葉」「闇の言葉」ということを、この欄に書いたことを思い出しました。

夕焼けをみたら「すごい！きれいな夕焼け」と喜ぶと、もっときれいな夕焼けを見せたくなくなってしまふのが、神様なのです。すべてを喜んでる人には、さらに喜ばしい現象が次から次へと起きてきます。これが「神様に愛される」ということです。

「そ・わ・か」の法則

悩みや苦しみは、大きく分けて三つのジャンルに分かれます。

第一にお金と仕事の問題、第二に体と健康のこと、第三に人間関係です。これを解決するのが「そ・わ・か」の力です。すなわち「掃除、笑い、感謝」です。とりあえず、水回り（トイレ、流し、洗面所）を中心にして掃除することです。一流スポーツ選手の部屋はきれいに片付いているそうです。体と健康の問題は、とにかく「笑う」ことです。とにかく笑う。内容がおもしろくて笑うのは初級。内容がおもしろくなくても笑う、これが中級。内容が理解出来なくても笑う、これが上級。なんでもいから笑っていると「喜ばれるとうれしい神様が」味方になってくれます。人間関係には「感謝」です。「ありがとう」ということです。声に出して言わなければいけません。声に出して言っているうちに、どんどん言えるようになります。「ありがとう」を年齢×万回言うと何かが変化すると言われます。皆さん頑張ってみましょう。